

これまでに得られた研究成果や、期待される研究成果の活用事例等が紹介されるとともに、現場での活用に向けた理解を深めるために行われる。今回の発表会で、畜産関係では、「食品表示の真偽を知る技術開発」として、二題の研究発表が行われる。これについて、発表テーマと発表者は次の通りである。

① 国産牛肉と輸入牛肉をDNA診断で見分ける 〓 神戸大学万年英之氏。

② SNPマーカーによる銘柄豚の判別系構築 〓 農林水産先端技術産業振興センター奥村直彦氏。

TOKYOXアニマルWF普及で食育フェアに出展

TOKYOX Association は十月十日、東京・代々木の東京都立代々木公園において、東京都が主催した「第四回東京都食育フェア」楽しみながら食を育もう」に出展した。

同食育フェアにおいて、植村光一郎会長より、TOKYOXのブロック肉からの小売り用スライスパック作りについて、しゃぶしゃぶ用、薄切りスライス用、焼き豚用、ヒレカツ用、肩ロースブロック、豚カルビ焼肉用、角煮用等について、実演と説明が行われた。参加者は植村会長の説明に、うなずきながら聞き入っていた。続いて、TOKYOXのしゃぶしゃぶの試食が行われた。

TOKYOXと食育との関連については、食育の三つの柱の中に、食事をする前に、膳として「いただきます」と食物に感謝して、手を合わせるということがあること。人間は、多くの生き物の命の元気を貰って生きていること。TOKYOXは十三年前から、アニマルウェルフェアの考え方を取り入れており、尊厳をもって豚に対し、飼養環境や行動環境についても、豚にストレスのない環境を作っていること。それにより、免疫力が高まり健康で丈夫になり、動物用医薬品の使用が最小限になること。TOKYOX生産者の食育がアニマルウェルフェアであるとしている。